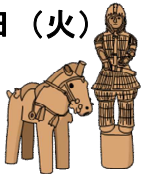


島田市立大津小学校

出前授業レポート

静岡県埋蔵文化財センター

令和4年9月20日(火)



「キャリア教育、歴史学習が深まり、とてもいい勉強になりました。」

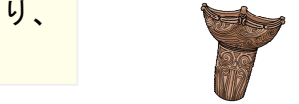
島田市立大津小学校の6年生50人が、古代の人々の暮らしについて学ぶこととキャリア教育の一環として、職業講話と勾玉作りの2つの体験を行いました。

職業講話(発掘調査と保存処理の話)



埋蔵文化財センターでは、発掘調査や出土品の保存処理等の仕事があることや、保存処理が終わると、展示室やサテライトに展示したり、現地説明会や様々な講座をしていることを説明しました。子どもたちは、とても熱心にメモを取りながら聞いていました。

話し終わると、子どもたちから、「仕事をする上で、気を遣うことや大変なこと」、「やりがい」などの質問があり、わかりやすく答えました。



勾玉作り体験



「普段やれないことをやれて楽しかったです。」

休憩後、楽しみにしていた勾玉作りです。勾玉の形が、日本独自のもので、動物の牙や胎児、月などに似ていることを話し、昔の人たちもアクセサリーをつけて、おしゃれだったことを伝えました。

勾玉作りキットの袋を開け、3枚の紙やすりで削っていくことを説明しました。第一段階は、最も粗い紙やすりで形を整えますが、なかなか思い通りの形ができなくて、何度も確認しながら進めました。第二段階は、二番目の紙やすりでキズを取ります。この作業は比較的早くできました。第三段階では、石と紙やすりに水をつけて、表面をつやつやにします。ここまでくれば、ほぼ出来上がりです。後は自分が納得するまで磨くだけです。ひもを通して完成!



「勾玉って、聞いたことなかったけど、楽しかったです。」



服部先生の感想

「キャリア教育、歴史学習が深まりました。発掘の話も初めて聞き、驚いている子が多かったです。職業講話も入れてくださり、とてもいい勉強になりました。センターの職員さんには、子どもの様子を見て対応してく下さり、ありがたかったです。子どもたちは、遺跡の発掘や出土品の修繕など、興味をもって話を聞いていました。勾玉作りは、『弥生時代にこんな物を作っていたんだ』と思いながら、どの子も楽しんで集中して作ることができていました。」



「ありがとうございました。」